

小国小学校と置賜森林管理署による 白い森づくり体験事業

森林環境教育

令和5年10月26日、気持ちのよい秋晴れの下、小国町立小国小学校5年生生徒46名を対象に、小国町叶水地内の国有林において、植樹体験、森林教室などの「白い森づくり体験事業」を実施しました。

この取組は、小国町農林振興課および小国小学校と連携し、小国小学校の生徒に森林の持つ多面的機能や森林整備の必要性について学んでもらうために、小国小学校の総合的な学習の時間を活用し毎年実施しています。

はじめに、職員が作業の注意点や植え付け方法の説明を行い、実演指導後に各班に分かれ、スギコンテナ苗（大苗）の植え付けに挑戦です。



うまく穴が開かずに悪戦苦闘



上手に植えられたよ

植え付けの穴を掘る器具（ディブル）の作業では、初めて手にする器具ということと、傾斜があり土が固い現場であったことから、体重の軽い生徒たちは、「道具が重くて大変だ」「なかなか土に刺さらないよ」と悪戦苦闘していましたが、作業を進めるうちにだんだん慣れてきて、「苗木もう無いの、もっと植えたい」という生徒が続出するほどでした。

また、現地で無人航空機のデモンストレーションを行いました。

生徒達にばれないよう密かに飛ばしたはずの無人航空機は飛行開始とともに見つかってしまい、指をさしたり手を振ったり、生徒たちは山中での飛行に大はしゃぎでした。



無人航空機に大はしゃぎ

現場での作業後は、小学校へ移動して森林教室を行いました。

森林の働きや地元小国町の森林の特徴を中心に話をしましたが、みんな熱心にメモを取ってくれました。そして生徒からは、「森林管理署はどんな仕事を何人でやっているの」「小国町の森で伐った木はどのように使われているの」「危ない目にあったことはありますか」「松くい虫やナラ枯れ以外にどんな被害があるの」など質問攻めに合いましたが、これもみんなが少しでも森林に関心を持ってくれたのだと感じ、森林教室をやってよかったとホット胸をなでおろしました。



熱心に聞き入る生徒たち



質問攻めに・・・？

将来、この生徒の中から一人でも多く地元で林業関係の仕事に就いていただき、「白い森おぐに」の林業の発展に繋がっていけばいいなと願っております。



小国町立小国小学校 5 年生の皆さん、お疲れさまでした。